



令和5年度アクションプラン

校長 窪田 俊介

アクションプランとは、学校の教育目標を達成するために、具体的な達成目標と目標値を決め、年間2回の評価と修正をしながら取り組む行動計画です。今年度の本校の**重点目標は、「思いやりの心を持ち、自ら考え、挑戦する子供の育成」**です。この目標を達成するため、知・徳・体のそれぞれで次のような行動目標を立て、取り組んでいきます。

知 自分の考えを持ち、学び合う・・・達成度85%以上

- ・一人一人の子供が常に自分の考えをもつことができるよう、指導を工夫します。
- ・互いの考えのよさを感じ合い、自分の考えをさらに深めていけるよう、学び合いを取り入れた授業を目指していきます。

徳 思いやりの心を持ち、自他を大切に・・・達成度85%以上

- ・進んで挨拶ができるよう、活動を工夫します。特に、「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」の4つの言葉を大切にします。
- ・様々な活動を通して、自分や友達のよさに気付かせられるよう、指導を工夫します。
- ・異学年交流等を活用しながら、友達と仲良く活動する場を工夫します。

体 進んで健康づくりに取り組む・・・達成度85%以上

- ・様々な運動に進んで挑戦できるように活動を工夫します。
- ・家庭と連携し、メディアコントロールができる生活づくりを目指していきます。

運動会 5/13

天候にも恵まれ、本年度の運動会を無事終了することができました。PTAの方々には、当日朝早くから、テントの設営や側溝の泥上げ等の準備や終了後の片付けなど、ご協力いただき大変感謝しております。本当にありがとうございました。

運動会では、「進んで運動したり互いに協力したりしようとする態度を育てる」ことをねらいとして実施いたしました。どの子供も最後まであきらめず、全力で競技や係の仕事等に挑戦する姿が見られ、木津っ子一人ひとりのよさを感じることができました。



児童の感想文より

私は運動会で応援団長として、競技しているときも、みんなを勇気づけられるような応援をしたいと考えていました。予行練習では、私が応援すると、みんなが行動で返してくれているように感じられて、うれしくなりました。本番での応援合戦は、みんな団結して、いい応援を見せることができたと思いました。また、リレーの時には、ほかの団に負けない声で応援できたと思いました。

私は運動会の放送係として、聞きやすい声で話そうと心がけました。それは、大勢の前で話す経験がふだないからです。運動会本番での私の声は、緊張でふるえていました。けれども、落ち着いてゆっくり話そうと心がけていくうちに、予行練習の時以上に話せるようになってきたと感じました。係の仕事にとっても満足できたので、次の機会にも生かしたいと感じました。